

青木のりおの

青のりレポート!

AONORI REPORT
http://aokinorio.com



市議会報告

2月14日から3月18日まで令和4年第2回川崎市議会定例会が開催されました。自民党川崎市議団を代表して市政100周年に向けた取組みや令和4年予算案をはじめ、市政一般に関して40項目以上質問を致しました。また予算特別委員会においても質問致しました。一部抜粋してお届け致します。



代表質問に登壇しました

代表質問 新型コロナウイルス感染症対策について

質問 エssenシャルワーカーに対する優先的な追加接種に対する取組み状況は？

健康福祉局 早期接種の取組みを進めており、2月23日から6千名分の優先予約の受付を開始し、3月1日から接種を実施する。



エssenシャルワーカーの優先接種に関する要望書を提出

質問 教職員の追加接種の対応と、接種状況の把握について見解と対応状況は？

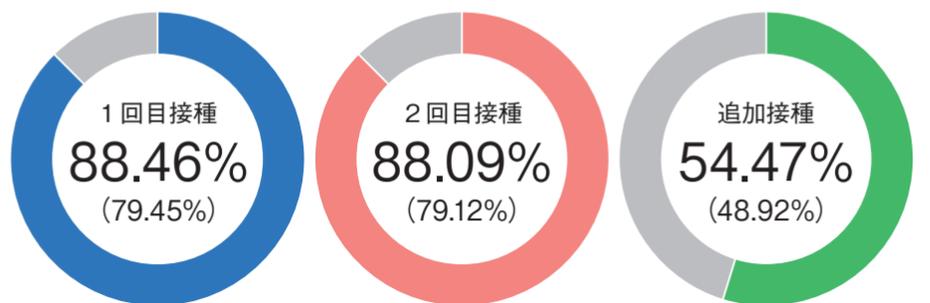
教育次長 3月1日から教職員も優先接種の対象になるため、学校運営に支障が生じないように計画的に接種を受けるよう周知を行った。3回目接種状況は昨年9月の任意調査の結果から常勤教職員の

約79%が本年4月1日までに接種可能となる見込みであるため、状況を調査していく。

質問 今後の接種回数と大規模・集団接種会場の稼働率の見通しは？

健康福祉局 3月末までに約98万人への接種兼発送を予定しており、職域接種等の実施も含め、3月に約37万回、4月に38万回を見込んでいる。大規模・集団接種会場について、2月21日現在、予約定員に対して約70%の接種状況。今後は接種対象者の増加から、より有効活用が図られると考える。

全対象者のワクチン接種率 (令和4年4月25日時点)



質問 5歳～11歳までの方のワクチン接種について接種推奨の考え方と接種率目標は？

健康福祉局 小児の感染報告割合が増加傾向にあることや、人数は少ないものの、重篤な症状を呈する症例数の増加から、対象者には接種機会が提供されていることを周知する必要がある。一方で小児について努力義務の規定は適用されないことから、それぞれの判断に基づきご検討いただきたい。努力義務が課されていない状況も踏まえ、現時点で接種率目標は設けてないが、本年9月末までには、希望者すべての接種が完了できるよう進めていく。



新型コロナ勉強会

発熱等の症状がある方は、**まず** かかりつけ医に相談・受診を

コロナワクチン接種
予約については
0120-654-478 へ
8:30~18:00 (土・日曜、祝日も対応)

かかりつけ医がないときやコロナワクチンの副反応については

044-200-0730

24時間受付



新型コロナウイルスワクチン予約コールセンター
(集団接種会場での接種予約受付、キャンセル、変更)

0120-654-478

8時30分から18時まで・土日祝日も対応・通話料無料

電話のかけ間違いが多くなっていますので、ご注意ください。

代表質問 都市農業施策について

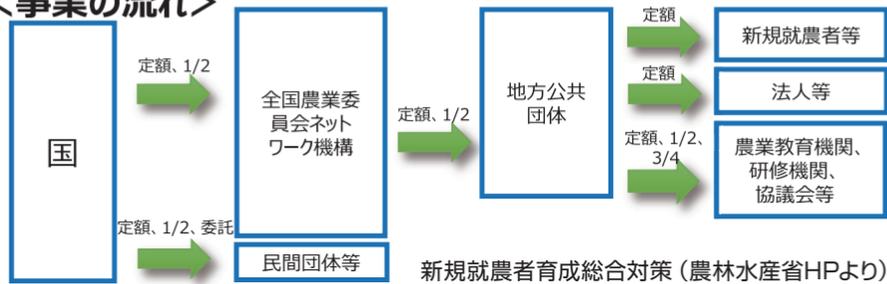
質問 新規就農者に対する具体的な制度内容と、令和4年度での活用見込みは？

経済労働局 国の「新規就農者育成総合対策」を活用し、機械・施設等を設置する49歳以下の認定新規就農者に対して、補助上限1,000万円の最大4分の3を支援する制度を始めると共に、前年の世帯所得が600万円未満の認定新規就農者もしくは研修生に対して年間最大150万円の資金を助成する予定。就農者を雇用する法人等に支援は、補助対象事業費上限1,000万円の最大2分の1の支援を予定している。活用見込みは新規就農1件、雇用就農1件、合計2件を見込んでいる。

意見 青木より一言

川崎市のような大都市でも、いや大都市の方が、「土に触れたい」人は多いです。特に新規の就農者対策に取り組んでいます。

<事業の流れ>



神奈川農業アカデミーHPより

代表質問 令和4年度川崎市予算案について

質問 ポイントは？

市長 「安心のふるさとづくり」と「力強い産業都市づくり」に向けた取組みを戦略的に推進するために、限られた財源をバランス良く配分するよう努めた。新型コロナ対応、地域包括ケアシステムの構築、脱炭素社会の実現など、未来を見据えた取組みに力を入れ調整した。一方で減債基金から借入れを行わざるを得ない状況については危機感を持っており、持続可能な行財政基盤の構築に向けてしっかりと取り組んでいく。

意見 青木より一言

予算とはまさに「やりくり」です。市民にとっては、もっとやってほしい、助成制度や取組みもあるし、もっと削減してほしい部分もあります。今回の予算は、国の方向性を踏まえて、バランスが取れている予算と考えます。

4年度の予算案のポイント

市総合計画第3期実施計画の初年度として、総合計画における「かわさき10年戦略」とも連携しています。

成熟戦略（安心のふるさとづくり） ■川崎らしい地域包括ケアシステムの構築に向けた取組み ■協働により、心がつながるコミュニティづくり ■かわさきパラマウントの推進 ■未来を担う人材の育成 ■質の高い保育・幼児教育の推進や児童家庭支援体制の強化	成長戦略（力強い産業都市づくり） ■脱炭素化の推進 ■臨海部の活性化 ■イノベーションの推進・中小企業の支援など ■広域拠点・地域生活拠点などや交通環境の整備 ■まちの魅力を高める緑と水の豊かな環境づくり
『成長』と『成熟』を支える基盤づくり ■国土強靱化の推進・地域防災力の向上 ■感染症対策の強化 ■資産マネジメントの推進 ■デジタル化の推進 ■地方分権改革の推進	

一般会計 予算案の規模

8,785億円
(過去最大)
対前年度+577億円(+7.0%)

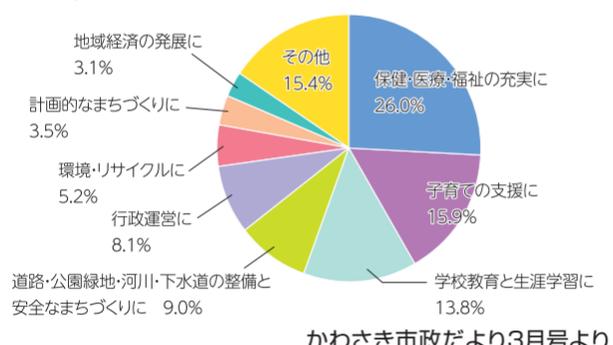
歳入の内訳

市税 3,671億円
個人市民税1,738億円、法人市民税151億円、固定資産税1,314億円、市たばこ税93億円、事業所税90億円、都市計画税275億円、その他10億円

国庫支出金 1,620億円
県支出金 401億円
市債 931億円
その他 2,162億円

必要な施策を切れ目なく推進するため、減債基金(市債償還のための基金)からの借入額239億円を活用しています(減債基金からの借入額は、平成24年度から累計で895億円)

どんな使い方をするの？ 一般会計の予算の使いみちを構成比で示しました



代表質問 施政方針について

質問 「新しい資本主義」「成長と分配」に対する見解と、国に対して求めることは？

市長 新しい資本主義では、脱炭素化やデジタル化、「人」への投資などが掲げられており、本市においても重要な課題として受け止めている。国に対しては大都市の状況を踏まえた税財政制度の確立や、ふるさと納税の見直し、特別自治市制度の実現に向け様々な働きかけを行っていく。

質問 子育て世代からの根強い要望である小児医療制度についての見解は？

市長 医療費の負担は、本来自治体間で差異のある取組みではなく国の責任において全国一律の制度として構築するべきであると考え、国に対して要望を行ってきた。子育て支援施策の推進については、切れ目のない支援を総合的に進めることが必要だと考える。小児医療制度についても重要な子育て支援施策の一つとして本市の子育て家庭を取り巻く状況を踏まえた上で総合的に子育て支援施策を推進していく。

質問 経済安全保障について施策方針に入れなかった理由は？

市長 本市の産業基盤となる製造業や情報通信業などへの影響が考えられることから、国における法整備の動向を注視している。情報収集に努め、本市産業の持続的、安定的な発展が図られるよう対応していく。

質問 新しい時代のキャリア形成の仕組みについての見解は？

市長 重要であると考えている。全庁を上げて働き方・仕事の進め方改革に取り組む中で、女性管理職の登用、男性職員の育休取得促進、定年の段階的引き上げに向けた検討などにも取り組んでいる。

質問 市長公約である学校教室や校庭の有効活用の具体的な取組みイメージは？

市長 「かわさき教室シェアリング」「みんなの校庭プロジェクト」とも令和4年度から、各区1校の小学校においてモデル事業を実施。庁内横断的に取組みを進められるように、本年1月に「学校施設有効活用推進会議」を立ち上げ、プロジェクトの推進体制を整備した。スピード感を持って進めていく。

意見 青木より一言

政治は、常に「方向性」と「バランス」いいかえれば「やりたいこと」と「やりくり」がキーポイントです。何をしたいのか、それには、どのくらいの政治資源を投入するのかを常に市議会としても市民に伝えていきます。

新マニフェスト

生活

暮らしの安心に必要な機能に、15分でアクセスできる生活都市へ。



32 地域が学校を活用する 「教室シェアリング」の推進

放課後から夜間にかけて、学校の特別教室などの施設を地域に開放し、コミュニティの大切な拠点としての役割を担う「教室シェアリング」を進めます。

市長公約パンフレットより

33 「みんなの校庭」プロジェクト

子どもにとってボール遊びできる場はとても大事です。自由にボール遊びができる公園が少ないことから、個人で利用できるような小学校の校庭開放の仕組みを地域の皆さんや学校と協力してつくりまします。

代表質問 川崎DX推進プランについて

質問 行政手続きのオンライン化の進捗は？

総務企画局 LOGOフォームを活用しながら進めている。対面が必要なものを除く約2,400手続きについて令和4年度末までの原則オンライン化に向けて取り組んでいく。

質問 現在のHPやアプリといったネット情報発信の課題は？

総務企画局 HPはスマートフォンからのアクセスが増加するなど、より見やすさを重視した変更が求められている。アプリは令和3年3月に利用者ニーズを反映したリニューアルを行った。引き続きわかりやすい情報発信に努める。

質問 オープンデータの推進についての見解は？

総務企画局 人口統計など、本市HPに公開している。公共画像については本市の魅力発信に寄与するものと考えため画像の著作権等に配慮しながら検討していく。

用語解説 オープンデータとは

国、地方公共団体及び事業者が保有する官民データのうち、国民誰もがインターネット等を通じて容易に利用できるよう公開されたデータ

質問 DX化遂行に当たり、具体的なビジョンは？

総務企画局 新しい日常に対応し、市民サービスの更なる向上と業務の効率化を推進していくためには、業務プロセスの見直しを徹底しながら、DXを進めていく必要がある。誰でも、どこでも、便利に、行政サービスを利用できるデジタル市役所の実現を目指す。

意見 青木より一言

デジタル化は、生産性を向上させ、感染対策としても大きな成果を出します。機械でできるところは機械にしてもらい、私が信じる「人の力」をさらに、さらに発揮できる街を創っていきたいです。

かわさきアプリのリニューアルの概要



代表質問 JFE跡地利用について

質問 跡地利用について市長の決意とビジョンは？

市長 経験したことのない大規模な土地利用転換が見込まれており、これに対する取組みは今後100年の持続的な発展を左右する岐路になるものと認識している。この地区は優れたポテンシャルを備えていることから、広大な土地利用転換を好機と捉え、新産業創出拠点の形成や次世代エネルギー供給拠点の形成等の取組みを加速していく。



高炉

意見 青木より一言

50年後、100年後の川崎の産業を推進するために、このプロジェクトは大変重要なものです。今後の有効な土地利用について、様々な議論が前向きに活性化することを望みます。

代表質問 川崎市立看護大学の開設について

質問 応募状況は？ 学力資質の高い受験者を募る事が4年制化の背景の一つであったが、成果は？

健康福祉局 前期試験は70名の定員募集に対して560名、後期は5名の定員募集に対し135名の応募があり、志願倍率はそれぞれ8倍、27倍。優秀な学生の確保を図っていきたいと考えるが、判定作業終了の後に、志願者レベル等の検証を行っていく。(2022年4月 短期大学から4年制に移行)



川崎市立看護大学HPより
(2022年4月 短期大学から4年制に移行)

意見 青木より一言

いよいよ、川崎市に4大生の看護大学が新設されます。多くの優秀な看護師の養成に期待します。

代表質問 眼科検診について

質問 屈折検査機(SVS)の導入が新規事業として予算案に示された。導入スケジュールと中期的なデータ分析に関する見解は？

こども未来局 3歳児検診における、SVSを用いた検査は令和4年後半に開始できるよう調整していく。中長期的には統計情報を関係機関と共有・分析し、早期発見に向けた知見の蓄積につなげることが重要と考える。



SVS
イメージ

意見 青木より一言

ついに3歳児検診の一次検診に、機械が導入されます。これにより、弱視や目の病気などの早期発見が可能になります。データを取り、川崎モデル実現に向けて、協会と連携します。

代表質問 HPVワクチンについて

質問 キャッチアップ接種の具体的な運用と周知方法は？

健康福祉局 本市では約78,000人が対象となり、接種期間は令和4年4月から令和7年3月までの3年間の予定。周知方法は国からの具多胎的な取り扱いが示されていないため、国の動向を注視していく。

用語解説 キャッチアップ接種とは

様々な理由で必要な回数の接種がされていない場合に追加接種を行うこと。HPVワクチンに関しては、積極的な接種勧奨を中止していた期間に機会を逃した1997~2005年度生まれの女性に公費で接種をすること。

意見 青木より一言

国より早く川崎市では、自民党の代表質問に答えて、HPVワクチンについて、女性の健康を守る取組をしてきました。逃した人にも、キャッチアップの機会を提案しています。



対象者の取り扱い(厚生労働省HPより)

●新型コロナウイルス感染症に関する情報は下記サイトよりご参照ください



読み取りは
携帯のカメラモードを
かざすだけ



【ワクチン接種】最新のお知らせ



3回目接種を受ける方



接種状況(速報)と供給状況



濃厚接触者について

予算特別委員会

学校におけるSDGsの取組みについて

SDGsが達成すべきゴールの中でも、子ども達にとってとりわけ身近な問題である食料問題について言及しました。気候変動が食料供給に与える影響や、食材高騰などの課題に直面する中、大豆ミートを使った食材が注目されています。そこで大豆ミートやヴィーガン食材の給食での実用化について質問しました。一部では大豆ミートを使用した料理の提供や、世界の料理を提供するなど実施しており、子ども達には今後も「食」を通して諸課題について考えを深める機会を設け、互いに尊重し支え合うことの大切さを理解するよう育てていくと答弁がありました。

はるひ野小中学校を含む、麻生区内小中学校の包括民間委託事業検討に関して

はるひ野小学校PFI事業期間満了を契機として、麻生区内小中学校の包括民間委託事業が検討されています。検討経過と、市内事業者の積極的活用に向けた仕組み作りの必要性について見解を質問しま

した。検討経過については、はるひ野小学校のPFI事業では維持管理業務が特に高評価であり、民間活用の効果が実証されたため、その効果を波及させるため試行的に包括民間委託導入を検討している。市内事業者の活用については他都市の好事例も参考にしながら積極的な活用を可能とする事業スキームを検討すると答弁がありました。

用語解説 PFI事業とは

民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設等の設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業の手法。あくまで地方公共団体が発注者となり、公共事業として行うものであり、JRやNTTのような民営化とは違う。正式名称を、Private-Finance-Initiative(プライベート・ファイナンス・イニシアチブ)といい、頭文字をとってPFIと呼ばれる。(内閣府HPより)

都市計画情報の提供について

都市計画情報について、市HP「ガイドマップかわさき」で見ることができるが、計画図等の交付には、市の窓口まで出向く必要がある。その件数は年間約1万3千件(令和2年度)。利便性の向上に向けた取組みについて質問しました。利用者へのアンケート調査などにより意見を聞きながら、デジタル化の推進など、調査・検討を図ると答弁がありました。

2月20日 TVKにて放送された「川崎市議会座談会「予算審議を前に」(2022年)」に出演しました。令和4年度予算案について検証し、意見を述べました。



こちらから動画をご視聴いただけます



発言のPOINT 予算編成の具体的な着眼点

コロナ対策

約440億。大きな額。状況を見ながら補正予算などで提言・対応していきたい

気候変動

脱炭素化約223億円。国が最大の課題にしているエネルギーへ取組みに果敢にチャレンジしている点の評価

デジタル化

本市は合計17億付けて率先して取り組んでいる。スピード感を特徴としている点の評価

科学技術・イノベーション

モノからコトの時代。人への投資が重要であることに本市が目をつけている点の評価

経済安全保障

物流で世界と繋がっているという視点が必要

4つの視点

気候変動	脱炭素化の実現に向けて 約223億円
デジタル化	川崎市合計 約17億円 各種証明書交付申請 約2億円 GIGAスクール構想によるオンライン授業の推進 約15億円
科学技術イノベーション	有形資産→無形資産 人への投資 生産性向上、デジタル化の促進 約4億円
経済安全保障	安全な経済活動



青木のりお 昭和52年8月26日生まれ

- 4期連続トップ当選(29才初当選)
- 自民党川崎市議団団長
- 自民党川崎支部連合会政務調査会長
- 川崎市幼稚園父母の会、連合会前会長、高津消防団員、保護司、川崎高津ロータリークラブ
- 英国ボーンマス大学院国際経営学Dip取得、産業能率大学、サレジオ学院中高、洗足学園小、川崎めぐみ幼
- 両親、妻、息子3人の7人家族
- フラッグフットボール日本選手権3連覇 W杯日本代表、キリマンジャロ登頂成功(5,895m)

川崎市議会議員

青木のりお事務所

〒213-0029 神奈川県川崎市高津区東野川2-29-11

TEL 044-788-8899

FAX 044-788-6440

E-mail info@aokinorio.com

H P http://aokinorio.com